

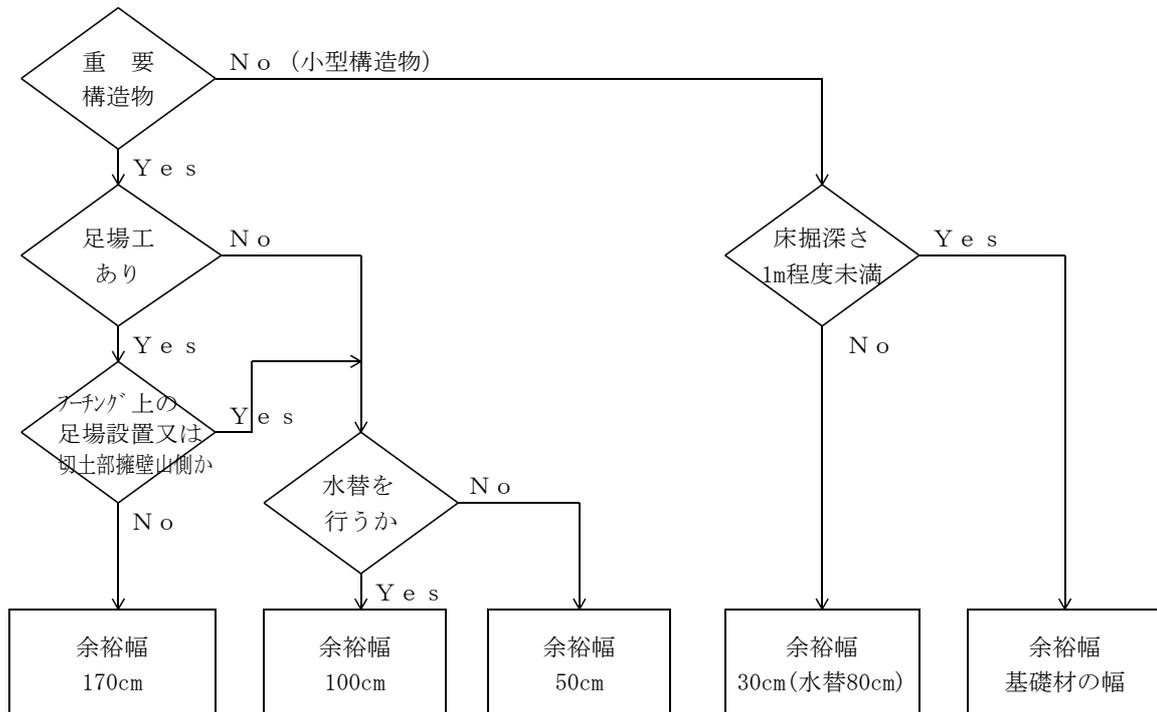
01-00-050 床掘余裕幅

1 余裕幅は次表を標準とする。

種別	足場工の有無	余裕幅	
		(水替なし)	(水替あり)
オープン掘削	足場工なし	50cm	100cm
	足場工あり	170cm	170cm
	足場工あり (フーチング高さ2m未満でフーチング上に足場を設置する場合)	50cm	100cm

- 注) 1. 余裕幅は本体コンクリート端からとする。  
 2. 矢板施工等の土留掘削については別途考慮する。  
 3. 足場工の必要な場合とは、H = 2 m以上の構造物。  
 4. 雪寒仮囲いを使用する場合は、必要幅を計上すること。  
 5. キャットウォーク及び切土部擁壁山側の単管傾斜足場については足場工なしを適用する。  
 6. 小構造物（プレキャストU型・V型側溝、集水柵などのコンクリート2次製品）の掘削の余裕幅は、30 cmとする。なお、床掘深さが1 m程度未満の場合は、基礎材の幅を床掘幅とすることができる。

2 床掘の余裕幅フロー図



#### 04-12 止水板・目地材取付

##### 04-12-100 止水板取付（一般工作物 SPX103、治山ダム SPL401）

一般工作物は「20 施工パッケージ No123 止水板」による。

表1.1 止水板取付歩掛

(10m当たり)

名 称	規 格	単 位	治山ダム
止 水 板	材料割増率 治山+7%	m	10.7
世 話 役		人	0.30
普 通 作 業 員		〃	0.80
計			

備考 治山ダムの止水板は、C-Fを標準とする。

##### 04-12-200 目地材取付（SPX102）

「20 施工パッケージ No122 目地板」による。

#### 04-13 堤名板等設置

##### 04-13-100 堤名板等設置（SQ0402）

表1.1 堤名板等設置歩掛

(1枚当たり)

名 称	単 位	数 量
堤 名 板	枚	1.00
普 通 作 業 員	人	0.14
計		

備考 本表には、20m程度の材料小運搬を含む。